デジタルメモ DM20

pomera

User's Guide
取扱説明書

Introduction ご使用の前の準備

First Step 基本操作

Document Edit テキストの編集

File Management ファイルの管理

Settings 本機の設定

Appendix 付録

はじめに

このたびは、デジタルメモ「ポメラ」DM20 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
「ポメラ」をお使いいただく際には、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。
「ポメラ」を本書と共に末永くご愛用いただきますよう､心よりお願い申し上げます。

- ● この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。（VCCI-B）
- ● 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- ● 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- ● この製品は、日本国内専用です。
- ● 本書の作成には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

注意

- ・ 本機やパソコンなどに保存したデータは、長期間･永久的な保存はできません。本機の故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの損失及び損失利益、本製品の使用を原因としたパソコンの故障、修理、検査、それらに起因するデータの損失の障害及び損失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KINGJIM、ポメラ、pomera はいずれも日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft、Windows、「MS-IME」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
eneloop、エネループは三洋電機株式会社の登録商標です。
QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意・・・必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使い方によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⃠表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて

電池の内容液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

電池の取り扱いについて

電池の＋と－を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池の内容液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。

長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。

電池はお子様が飲み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。

その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災･感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

その他

長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。

目次

ポメラの特長

「ポメラ」は、コンパクトさと、打ちやすさの両立を追求した折りたたみ式キーボードと見やすい液晶画面を搭載したテキスト入力装置（メモ帳）です。
「ポメラ」とは、ポケット・メモ・ライターの造語です。

ポメラを使いこなそう

移動中や外出先で…
ひらめきを逃さず、メモる！

折りたたみ式でコンパクト。
軽量ボディだから
どこでも開いて即起動！

どんなひらめきも逃がしません。

エネループ対応で
環境に優しく、長時間稼働！

電源はエネループにも対応。
無駄なランニングコストも
減らせます！

会議やミーティングで…
ポイントをすばやくメモる！

セキュリティ上、
パソコンの持ち出しが
規制されている場合でも
ポメラならＯＫ！

キーピッチ 17mm のキーボードと
ATOK オプション辞書を搭載。
よりスピーディで
正確な入力ができます。

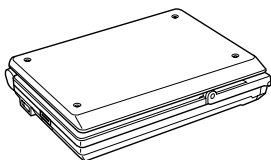
周辺機器とつなげて…
メモった情報を整理、
アイデアを形に！

USB 接続でパソコンへ
QR コードで携帯電話へデータを転送。
ファイル検索機能と
フォルダ管理機能でデータをしっかりと管理します。

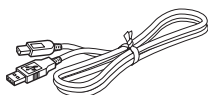
メモをメモのままでは終わらせません！

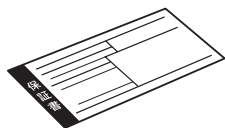
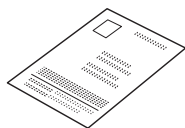
1 Introduction ご使用前の準備

同梱品の確認

本体

リチウムコイン電池（CR2032）

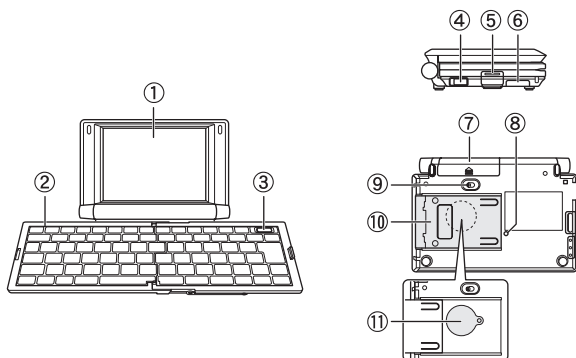
※本体に装着されています。絶縁フィルムを抜いてからご使用ください。

USB インターフェイスケーブル（ミニ B 端子、50cm）

取扱説明書（本書）

保証書

お客様登録カード

■別売品のご案内

- 「ポメラ」専用ケース：DMC1
- 「ポメラ」専用ソフトケース：DMC2
- 「ポメラ」専用セミハードケース：DMC3
- 「ポメラ」専用着せ替えパネル：DMS20
- 「ポメラ」専用保護キット：DMP5
- 「ポメラ」専用覗き見防止シート：DMB5

各部の名称

本体

① **液晶パネル**
テキストファイルの編集画面やメニュー画面を表示します。

② **キーボード**
キーを押して文字を入力します。（➔ 24 ページ）

③ **電源ボタン**
電源を入れる／切るができます。

④ **USB ポート**
付属の USB ケーブルを接続し、パソコンと接続します。

⑤ **キーボードオープンボタン**
本機のキーボードを開くときに押します。

⑥ **microSD スロット**
microSD カードをセットします。

⑦ **電池カバー**
カバーを外し、電池の取り付け、取り外しを行います。（➔ 12 ページ）
ご購入直後は、電池はセットされていませんので、ご使用前に必ず電池をセットしてください。

⑧ **リセットスイッチ**

リセットスイッチを押すと、自動的に電源が切れます。電源ボタンを押して再起動させてください。編集中の文章は破棄されます。

⑨ **電池カバーロック**

電池カバーをロックします。ロックを解除している状態では本機の電源は入りません。

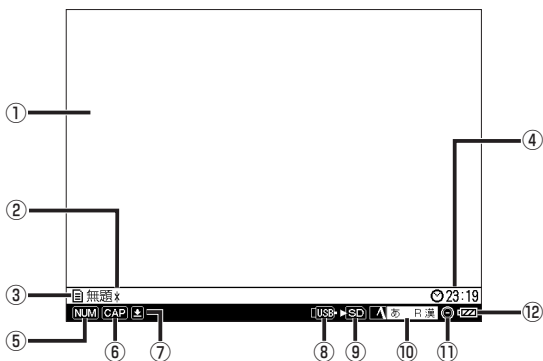
⑩ **固定アーム**

キーボードを開いたときに引き出して、本機を固定します。

⑪ **コイン電池カバー**

日付データのバックアップに使用するコイン電池が装着されています。カバーを外し、コイン電池の取り付け、取り外しを行います。(➔ 15 ページ)

ご購入直後は、絶縁フィルムがはさまれています。単４形電池をセット後に必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。

液晶パネル

① **テキスト編集エリア**

テキストファイルの編集を行います。

② **編集中アイコン**

テキストが変更された状態で、未保存の場合に表示されます。

③ **ファイル名**

編集中のテキストファイルの名前を表示します。

④ 時刻表示

本体に設定した時計の時刻を表示します。

⑤ NumLock アイコン

NumLock（テンキーモード）の設定時に表示されます。

⑥ CapsLock アイコン

CapsLock の設定時に表示されます。

⑦ キーロックアイコン

修飾キーがロック状態の場合に表示されます。（➔ 74 ページ）

⑧ USB 接続アイコン

パソコンに USB 接続をしている場合に表示されます。

⑨ microSD アイコン

microSD カードをセットすると表示されます。

⑩ 入力システムパレット

入力モードなど、文字の入力・変換に必要な情報が表示されています。

⑪ コイン電池アイコン

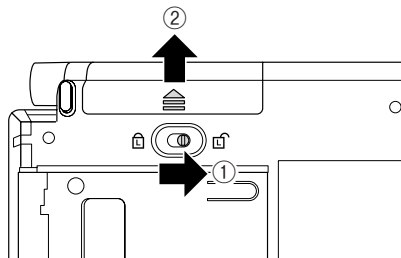
コイン電池がセットされている場合に点灯します。電池残量が少なくなると 1 秒間隔で点滅します。電池残量がない、あるいはコイン電池がセットされていない場合は 2 秒間隔で点滅します。

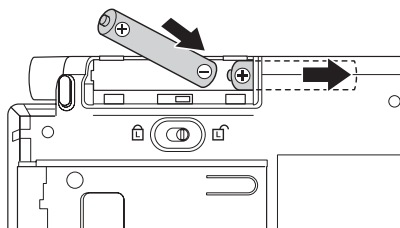
⑫ 電池残量アイコン

電池残量の目安が表示されます。

電池をセットする（別売り）

本機を使用する前に、単４形電池２本をセットします。

1 電池カバーのロックを解除し、電池カバーをはずす

2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単４形電池を２本入れます。

3 電池カバーをはめ、電池カバーをロックする

MEMO

- 本機には電池は同梱しておりません。単４形アルカリ乾電池（２本）、または単４形エネループ（２本）をお買い求めください。その他の電池を使用したときは、本機が起動しない、電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないなどのトラブルが生じることがあります。
- 電池残量が少なくなると、電池残量アイコンの目盛りが減っていきます。 が表示されたときは、電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。
- 電源を入れたまま、電池カバーロックを解除した場合、警告メッセージが表示され、本機の電源は自動的に切れます。

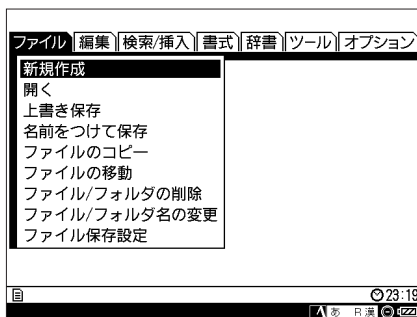
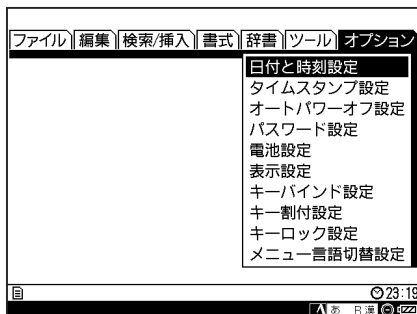
- 単４形アルカリ乾電池の実使用動作時間は約 20 時間です。（2 時間キー入力、2 時間待機状態での換算時）
- オートパワーオフ状態での電池寿命：約 75 日間（単４形アルカリ乾電池使用時）
- パワーオフ、クローズパワーオフ状態での電池寿命：約 500 日間（単４形アルカリ乾電池使用時）
- 単４形エネループの実使用動作時間は約 15 時間です。（2 時間キー入力、2 時間待機状態での換算時）
- オートパワーオフ状態での電池寿命：約 55 日間（エネループ使用時）
- パワーオフ、クローズパワーオフ状態での電池寿命：410 日間（エネループ使用時）
- 電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。

※ 電池寿命は使用環境や設定などで変化します。

電池の種類を設定する

本機にセットした単４形電池の種類を設定します。

1 menu キーを押す

メニュー画面が表示されます

2 ◄ / ► キーで「オプション」を選択する

3 ▲ / ▼キーで「電池設定」を選択し、enter キーを押す

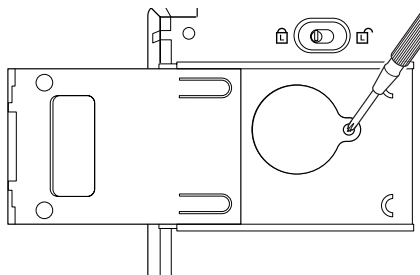
「電池設定」画面が表示されます。

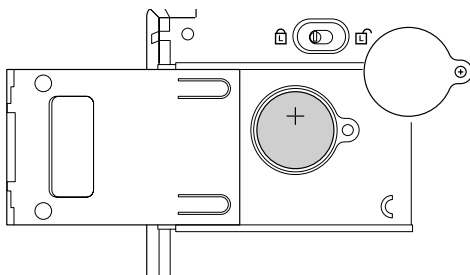
4 ▲ / ▼キーで設定したい電池の種類を選択し、enter キーを押す

使用する電池の種類が設定され、メニュー画面に戻ります。

コイン電池の交換について

本機では、日時データなどのバックアップのためにリチウムコイン電池を使用しています。電池残量が少なくなると、コイン電池アイコンが点滅します。コイン電池アイコンが点滅したときは、コイン電池を交換してください。

1 固定アームを引き出し、ドライバーでコイン電池カバーを外す

2 リチウムコイン電池をセットする

コイン電池は、上が「+」、下が「−」になるようにセットします。

3 コイン電池カバーをドライバーで固定する

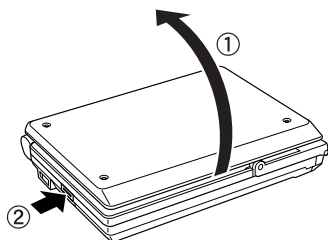
・ご購入直後は、コイン電池に絶縁フィルムがはさまれています。単４形電池をセット後に必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。
・ドライバーは０番または＃０と表記されているサイズのものをご使用ください。
・コイン電池カバーのネジは紛失しないようにご注意ください。
・コイン電池の電池寿命は約 60 時間です。（単４形電池が入っていれば消耗しません）

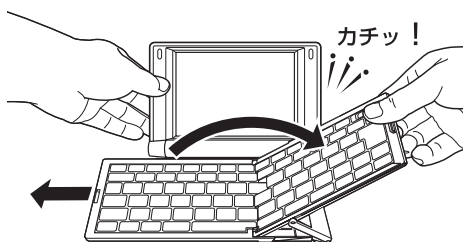
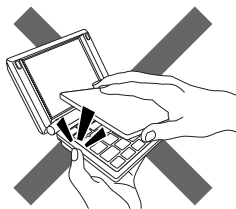
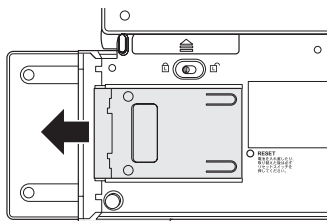
・コイン電池と単４形電池を同時に交換する場合は、電池交換後リセットスイッチを押してください。電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合はリセットスイッチを押してください。（リセットスイッチを押しますと未保存の文書は消去されます。）
・電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。

キーボードを開く / 閉じる

■キーボードを開く

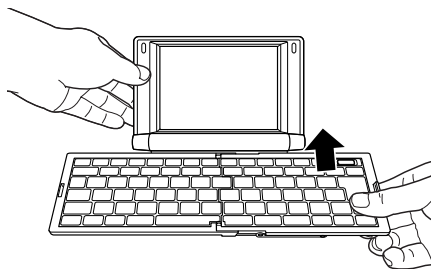
1 液晶パネルを開き、キーボードオープンボタンを押す

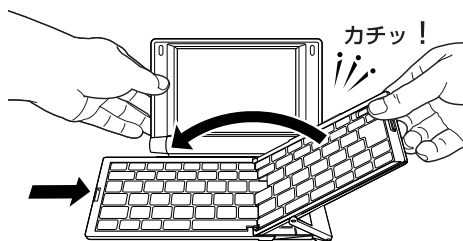
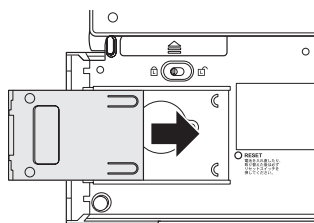
キーボードオープンボタンを押すと、ロックが外れ、キーボードの開閉ができるようになります。

2 キーボードをスライドさせながら、カチッとロックされるまで開く

液晶パネルサイド部分を持って、本体を押さえながらキーボードを開きます。

・キーボードを開閉する際には、指などがはさまれないようにご注意ください。
・キーボードの左側を押さえたまま開閉すると、破損、故障の原因となります。

3 底面の固定アームを引き出して、キーボードを固定する

キー入力時にガタつきがなければ、固定アームを引きだす必要はありません。必要に応じてご使用ください。

■キーボードを閉じる

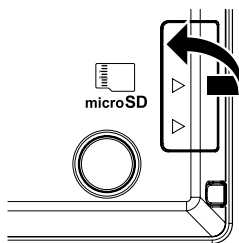
1 キーボードの右側を持ち上げる

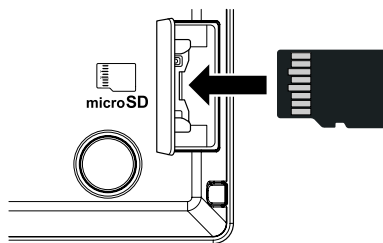
液晶パネルサイド部分を持って、本体を押さえながらキーボードを持ち上げます。

2 左側キーボードを右方向にスライドさせながらキーボードを閉じる

カチッと音がしてロックされていることを確認します。

3 液晶パネルを閉じ、固定アームを元に戻す

- キーボードを開閉する際は、本体の下に衣類・紙やビニールなど異物がないことを確認してください。異物があると巻き込んでしまい破損する恐れがあります。
- キーボードを開いたまま持ち運ばないでください。本体が破損する恐れがあります。持ち運ぶときは必ずキーボードを閉じてください。

microSD カードをセットする（別売り）

microSD カードをセットします。ファイルの保存領域を増やすだけでなく、パソコンとのデータのやり取りが行えます。

1 microSD スロットのカバーを引出し、つまみ上げる

2 microSD カードを入れる

microSD カードの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで奥へ入れます。

3 microSD スロットのカバーをはめる

- 本機には microSD カードは同梱しておりません。
- 本機で動作確認済みの microSD カードの情報は、弊社 HP にてご確認ください。
  http://www.kingjim.co.jp/

- 本機は、2GB までの microSD カードまたは 16GB までの microSDHC カードに対応しています。これらより大きい容量のカードは使用できませんのでご注意ください。
- microSD カードまたは microSDHC カードは、使用前に必ず本機でフォーマットを行ってください。本機でフォーマットを行わない場合、使用できない可能性があります。

設定について

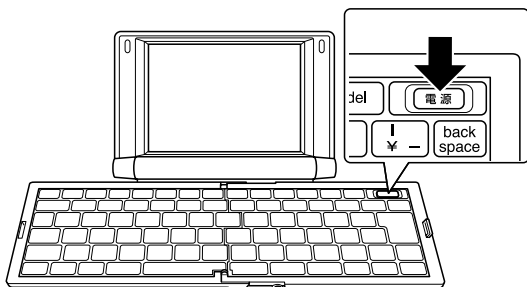
本機をより快適に使っていただくために、必要に応じて以下の設定ができます。

設定項目	内　　容
日付と時刻設定	本機の内蔵時計、カレンダーを設定できます。 （➔ 65 ページ）
パスワードの設定	起動時のパスワードを設定できます。 （➔ 67 ページ）
入力スタイル選択	使用する入力スタイルを ATOK または MS-IME から選択できます。（➔ 30 ページ）
表示設定	本機の初期画面や背景など、画面表示に関する設定ができます。（➔ 70 ページ）
ファイル保存設定	編集したファイルのデフォルトの保存先や、デフォルトのファイル名が設定できます。（➔ 75 ページ）

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

1 電源ボタンを押す

電源が入り液晶パネルにテキスト編集画面（またはカレンダー画面）が表示されます。

- パスワードを設定している場合は、認証画面が表示されます。設定したパスワードを入力して、enter キーを押してください。
- 起動時の初期表示画面は変更できます。（➔ 70 ページ）

■電源を切る

1 電源ボタンを長押しする

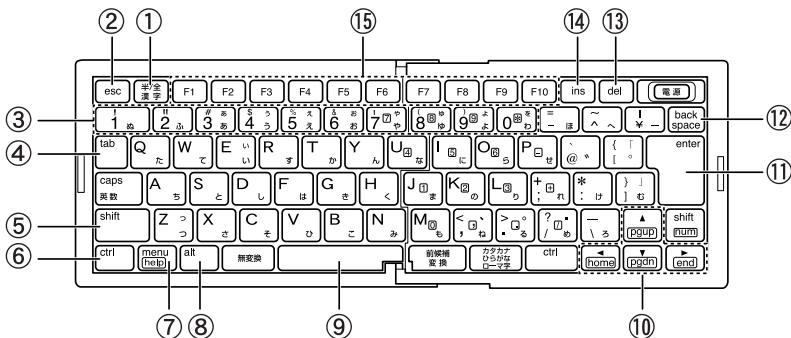
編集中のファイルがある場合は内容が保持され、本機の電源が切れます。

電源が入った状態でキーボードを閉じても、電源を切ることができます。編集中のファイルの内容は保持されます。

オートパワーオフについて

「オートパワーオフ」が設定されている場合、電源を入れてから一定時間（お買い上げ時の設定：5 分）操作を行わないと、自動で電源が切れます。この設定はメニュー画面の「オプション」－「オートパワーオフの設定」で変更できます。（➔ 66 ページ）

キーボードの基本操作

ここでは文字を入力する以外のキーのおもな使いかたを説明します。

① 半 / 全　漢字キー

日本語入力のオン、オフを切り替えます。

② esc（エスケープ）キー

1 つ前の画面に戻します。

③ 数字キー

数字を入力します。shift キーを押したまま、数字キーを押すと数字キーの左上の記号を入力します。

※かな入力時は入力できません。

④ tab（タブ）キー

テキスト編集画面では、編集中のテキストにタブを挿入します。

メニュー画面では、カーソルやアクティブエリアを次の項目に移動します。

⑤ shift（シフト）キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。

（➔ 86 ページ）

shift キーを押しながら caps キーを押すと CapsLock 機能のオン / オフが切り替わります。

⑥ ctrl（コントロール）キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。
(➔ 86 ページ)

⑦ menu（メニュー）/ help（ヘルプ）キー

メニュー画面の呼び出し、メニュー画面の終了を行います。
alt キーと組み合わせて押すと、ヘルプ画面が表示されます。(➔ 27 ページ)

⑧ alt（オルト）キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。
(➔ 86 ページ)

MEMO

alt キーを押しながら右 shift（num）キーを長押しするとテンキーモード（NumLock）に切り替わります。

⑨ スペースキー

スペースの入力や、入力中の文字の漢字変換を行います。

⑩ ▲ / ▼ / ◀ / ▶（カーソル）キー

上下左右にカーソルを移動します。

⑪ enter（エンター）キー

テキスト編集画面では、改行をしたり、文字の変換候補を決定したりします。
メニュー画面では選択した内容を確定します。

⑫ back space（バックスペース）キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

⑬ del（デリート）キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。
ファイル / フォルダ管理画面では、ファイル / フォルダを削除します。(➔ 50 ページ)

⑭ ins（インサート）キー

テキスト編集画面で、挿入モードと上書きモードを切り替えます。
挿入モードではカーソルが点滅し、上書きモードではカーソルが点灯します。

⑮ F1 ～ F10（ファンクション）キー

各キーに本機専用の機能が割り当てられています。

ファンクションキーについて

本機のファンクションキーには、以下の機能が割り当てられています。

F1　　　：付箋文の挿入
　　　　　編集中のテキストのカーソル位置に、メニュー画面で登録した「付箋文」（➔ 44 ページ）を挿入します。

F2　　　：タイムスタンプ
　　　　　編集中のテキストのカーソル位置に、年月日と時刻を貼り付けます。タイムスタンプの形式は「タイムスタンプ設定」（➔ 31 ページ）で設定できます。

F3　　　：次を検索
　　　　　直前に検索した文字列がある場合、カーソル位置から下方向に、もう一度検索します。
　　　　　shift キーを押しながら、F3 キーを押すと、上方向に検索を行います。

F4　　　：動作の繰り返し
　　　　　直前の動作を繰り返し実行します。

F5　　　：付箋文ジャンプ
　　　　　テキスト内に挿入した付箋文がある場合、カーソル位置から下方向にある付箋文の位置までカーソルがジャンプします。
　　　　　shift キーを押しながら、F5 キーを押すと、カーソル位置から上方向にある付箋文の位置へジャンプします。

F6　　　：表示文字サイズ切替
　　　　　テキスト編集画面の表示文字サイズを変更します。
　　　　　shift キーを押しながら F6 キーを押すと、表示文字サイズが逆順に変更されます。

F7　　　：文字情報表示
　　　　　編集中のテキストデータの総文字数と総行数を表示します。選択している文字数と行数も同時に表示されます。

F8 ～ F10：テキスト入力時の機能の割り当てはありません。

alt+F1　：カレンダー表示
　　　　　当月分のカレンダーを表示します。

alt+F3　：定型文の挿入
　　　　　メニュー画面で登録した定型文の一覧を表示します。定型文を選択して enter キーを押すと、編集中のテキストのカーソル位置に、選択した定型文を貼り付けます。

alt+F4　：反転表示
画面表示の上下を反転します。もう一度押すと、元に戻ります。

alt+F5　：QR コード表示
編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。

テキスト編集画面以外の画面では、一部ファンクションキーの機能が変わります。詳しくは『ポメラショートカットキー』（➔ 86 ページ）をご参照ください。

ヘルプキーについて

ヘルプキーを押すと、本機専用の機能が割り当てられたキーについての情報が表示されます。

1 alt + menu キーを押す

本機専用の機能が割り当てられたキーの情報が表示されます。

ヘルプキーは以下の画面でのみ使用できます

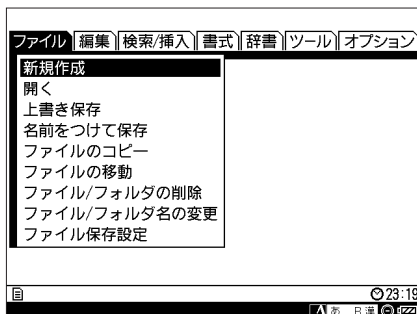
- ・テキスト編集画面（ショートカットキー一覧（➔ 86 ページ）が表示されます）
- ・「開く」「名前を付けて保存」
- ・「ファイルのコピー」「ファイルの移動」
- ・「ファイル / フォルダの削除」
- ・「ファイル / フォルダ名の変更」
- ・「定型文の設定」編集画面
- ・「日付メモ」編集画面

各画面によって、キーに割り当てられた機能は異なります。

メニュー画面を表示する

メニュー画面では、ファイルの編集・管理や、本機の設定を行います。

1 menu キーを押す

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の基本操作

メニュー画面の主なキーボード操作を説明します。

◀ / ▶キー　：　カーソルを左右に動かします。メニュータブを選択します。
▲ / ▼キー　：　カーソルを上下に動かします。メニュータブの中の項目を選択します。
enter キー　：　選択した項目を決定し、次画面を開きます。
menu キー　：　メニュー画面を終了します。
esc キー　：　1 つ前の画面に戻ります。

メニュー画面でできること

メニュー画面から実行できる操作や、設定を説明します。

タブ	コマンド	機　能
ファイル	新規作成	新しいファイルを開きます。
	開く	本体メモリ、microSD カードに保存してあるファイルを選択して開きます。
	上書き保存	現在付けられているファイル名を変更せずに編集した内容を保存します。
	名前をつけて保存	新規作成したファイルの保存や、編集した内容を別のファイル名で保存するときに選択します。 （➔ 33 ページ）
	ファイルのコピー	本体メモリ、microSD カードに保存しているファイルをコピーします。（➔ 48 ページ）
	ファイルの移動	本体メモリ、microSD カードに保存しているファイルを移動します。（➔ 48 ページ）
	ファイル / フォルダの削除	本体メモリ、microSD カードに保存しているファイルまたはフォルダを削除します。（➔ 50 ページ）
	ファイル / フォルダ名の変更	本体メモリ、microSD カードに保存しているファイルまたはフォルダの名前を変更します。（➔ 53ページ）
	ファイル保存設定	デフォルトのファイル名や保存先を設定します。 （➔ 75 ページ）
編集	元に戻す	直前に行った編集内容を元に戻します。
	切り取り	カーソルで選択した範囲の文字を切り取ります。
	コピー	カーソルで選択した範囲の文字をコピーします。
	貼り付け	切り取り、またはコピーで選択した文字をカーソル位置に貼り付けます。
	削除	カーソルで選択した範囲の文字を削除します。
	文字パレット	シフト JIS コードを選択して文字や記号をカーソル位置に挿入します。（➔ 47 ページ）
	行指定ジャンプ	編集中のテキスト内で、指定した行にカーソルがジャンプします。（➔ 46 ページ）
	すべて選択	編集中のテキスト全体を選択します。
	タイムスタンプ	現在の日時をカーソル位置に挿入します。 MEMO 「日付と時刻設定」（➔ 65 ページ）で、内蔵カレンダーと時計の設定が必要です。

タブ	コマンド	機　　能
検索 / 挿入	検索	編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索します。(➔ 37 ページ)
	次を検索	直前に検索した文字列を続けて検索します。(➔ 38 ページ)
	置換	編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索し、別の文字列に置き換えます。(➔ 39 ページ)
	定型文の挿入	定型文のリストを表示し、選択した定型文の内容をカーソル位置に挿入します。(➔ 43 ページ)
	定型文設定	定型文の内容を設定します。(➔ 41 ページ)
	付箋文の挿入	設定した付箋文の内容をカーソル位置に挿入します。【初期設定 :「★付箋文★」】(➔ 44 ページ)
	付箋文設定	ファイルの中で、「しおり」の役目をする付箋文の内容を設定します。(➔ 45 ページ)
書式	入力スタイル設定	使用する入力スタイルを ATOK または MS-IME から選択します。【初期設定 : MS-IME】
	表示文字サイズ切替	テキスト編集画面の表示文字のサイズを 7 つのサイズから選択します。【初期設定 : 24 × 24 ドットフォント 26 文字、17 行表示】
	行間設定	テキスト編集画面の行間を 3 種類から選択します。【初期設定 : 行間小】
	自動改行設定	テキストの編集時に、自動的に改行が入る文字数を設定します。 MEMO 設定できる文字数の最大値は、表示文字サイズによって変わります。
	カーソル位置保存設定	起動時のカーソルの位置を 3 種類から選択します。【初期設定 : 文頭】
	制御文字設定	テキスト編集画面で、「改行マーク」「tab マーク」「space（全角 / 半角）マーク」を表示するかどうか設定します。【初期設定 : 表示しない】
辞書	単語登録	よく使う単語や語句をユーザー辞書に登録します。(➔ 80 ページ)
	辞書ユーティリティ	ユーザー辞書に登録した単語や語句のデータを編集します。(➔ 82 ページ)
	登録辞書エクスポート	本機で登録したユーザー辞書のデータを .dic ファイルとして microSD カードに保存します。(➔ 83 ページ)
	登録辞書インポート	microSD カードに保存した .dic ファイルを本機に読み込みます。(➔ 84 ページ)
	ATOK オプション	ATOK オプション辞書を設定します。(➔ 85 ページ)

タブ	コマンド	機　　能
ツール	カレンダー表示	当月分のカレンダーを表示します。F1 キー、F2 キーで表示する月を変更できます。 また､日付ごとにメモを作成できます。(➔ 57 ページ)
	文字情報表示	編集中のテキストの総文字数と、選択中のテキストの文字数を表示します。
	QR コード表示	編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。(➔ 59 ページ)
	PC リンク	電源を入れた状態の本機とパソコンをリンクするときに選択します。(➔ 61 ページ)
	空き容量表示	メモリのデータ利用状況を表示します。 表示単位は保存されているデータ量によって異なります。
	メモリのフォーマット	本体メモリやセットした microSD カードを初期化します。(➔ 76 ページ)
	ショートカットキー一覧	本機で使用できるショートカットの一覧を表示します。(➔ 86 ページ)
	バージョン情報	ファームウェアのバージョンの確認やアップデートを行います。(➔ 86 ページ)
オプション	日付と時刻設定	本機に内蔵されているカレンダーと時計を設定します。(➔ 65 ページ)
	タイムスタンプ設定	タイムスタンプの形式を選択します。【初期設定：yyyy/mm/dd hh:mm】
	オートパワーオフ設定	一定時間、本機を操作しなかったときに自動で液晶表示が消えるようにするかどうか設定できます。液晶表示が消えるまでの時間を指定時間から選択します。【初期設定：5 分】(➔ 66 ページ)
	パスワード設定	起動時または PC リンク時のパスワードを設定 / 解除します。【初期設定：パスワードなし】(➔ 67 ページ)
	電池設定	本機にセットした単 4 形電池の種類を設定します。 【初期設定：アルカリ電池】(➔ 13 ページ)
	表示設定	初期画面、背景色、画面表示の上下を設定します。 【初期設定：初期画面 / 編集画面、背景色 / 白、反転表示 / しない】(➔ 70 ページ)
	キーバインド設定	caps キーと ctrl キーの機能を入れ替えます。 【初期設定：しない】(➔ 71 ページ)
	キー割付設定	前候補キーと ins キーの機能を任意のキーに設定します。(➔ 72 ページ)
	キーロック設定	shift キー、ctrl キー、alt キーを押した状態を保持するかどうかを設定します。 【初期設定：しない】(➔ 74 ページ)
	メニュー言語切替設定	メニュー画面、警告画面、システムメッセージの言語を選択します。【初期設定：日本語】

テキストを入力する

電源を入れるとテキスト編集画面が表示されます。テキスト編集画面では、一般的なテキストエディタと同様の操作で入力、編集ができます。
本機のキーボード操作は基本的にパソコンのキーボード操作と同じです。メニュー画面で選択した入力スタイル（ATOK または MS-IME）に応じたショートカットを使うこともできます。

カーソルキーでの範囲選択

本機にはマウスがありません。編集中のテキストをコピーしたり、切り取ったりするときには、▲ / ▼ / ◄ / ►（カーソル）キーを使って、コピーや切り取りを行う範囲を選択します。

1 選択するテキストの開始位置にカーソルを合わせる

2 shift キーを押しながら、▲ / ▼ / ◄ / ►キーを押す

選択するテキストの終了位置までカーソルを移動させ、選択範囲を指定します。

MEMO

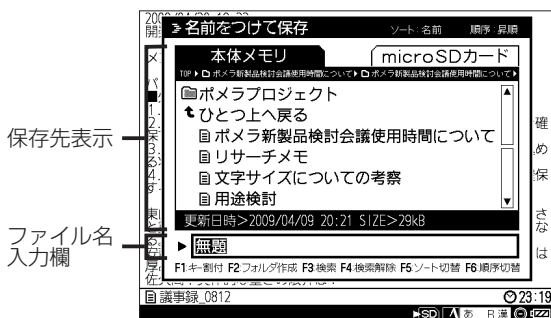
テキストの選択を解除するときは、shift キーを押さずに▲ / ▼ / ◄ / ►キーのいずれかを押します。

ファイルを保存する

本機で編集したファイルに名前をつけて保存します。ファイルの保存先として本体メモリまたは microSD カードを選択できます。

編集したファイルは、.txt ファイル形式で保存されます。

1 メニュー画面で「ファイル」－「名前をつけて保存」を選択し、enter キーを押す

「名前をつけて保存」画面が表示されます。

ファイル / フォルダ管理画面に表示されるアイコンは以下の通りです。

ファイルアイコン
本機で開けるテキスト形式のファイルです。

非対応ファイルアイコン
本機では開けない形式のファイルです。

フォルダアイコン
本機ではフォルダ内にあるデータを参照できます。選択して enter キーを押すと、中にあるファイルやフォルダが表示されます。

非対応フォルダアイコン
フォルダ内に 1000 以上のファイル / ファルダがある場合、そのフォルダを開くことができません。

2 ▲キー（または tab キー）で、保存先表示を選択する

3 ◄ / ►キーで保存メモリを選択する

保存されているファイルとフォルダが表示されます。

4 ▲ / ▼キーでファイルを保存したいフォルダを選択し、enter キーを押す

選択したフォルダ内にあるファイルとフォルダが表示されます。

MEMO

- 上の階層に戻る場合は、「ひとつ上へ戻る」を選択して、enter キーを押してください。
- 「名前を付けて保存」画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

注意

microSD カードが本機にセットされていない場合は、microSD カードタブは表示されず、選択できません。

5 tab キーで、ファイル名入力欄を選択する

6 ファイル名を入力する

任意のファイル名を入力します。

MEMO

ファイル名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。

注意

- ファイル名には、使用できない半角文字（" * + , / : ; < = > ? [¥] | ）があります。
- 半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。

7 enter キーを押す

入力したファイル名でファイルが保存されます。

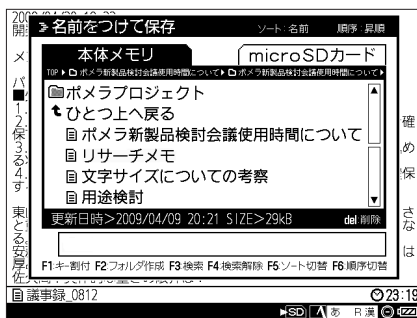
すでに存在するファイル名を入力すると、「上書き保存」の確認画面が表示されます。別の名前を付け直す場合は「いいえ：N」を、すでに存在するファイルに上書きする場合は「はい：Y」を選択して enter キーを押します。

フォルダを作成する

保存したファイルを整理するためのフォルダを作成します。フォルダの作成先として本体メモリまたは microSD カードを選択できます。

1 メニュー画面で「ファイル」－「名前を付けて保存」を選択し、enter キーを押す

ファイル / フォルダ管理画面が表示されます。

MEMO

「名前を付けて保存」以外のファイル / フォルダ管理画面でも、フォルダの作成は可能です

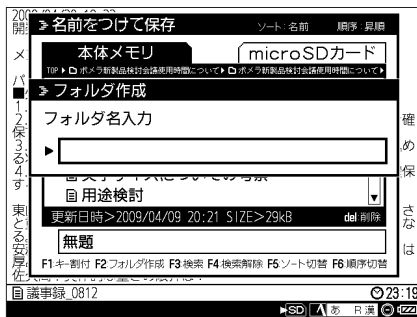
2 ▲キー（または tab キー）で、保存先表示を選択する

3 ◄ / ►キーで保存メモリを選択する

保存されているファイルとフォルダが表示されます。

・ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

4 F2 キーを押す

フォルダ名入力エリアが表示されます。

5 フォルダ名を入力する

任意のフォルダ名を入力します。

6 enter キーを押す

入力したフォルダ名でフォルダが作成されます。

MEMO

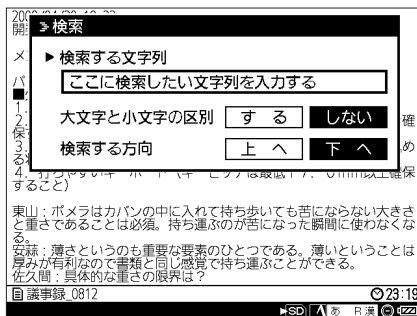
・新しいフォルダと同名のフォルダがある場合は、警告画面が表示され、フォルダは作成されません。
・フォルダは 5 階層までしか作成できません。5 階層目でフォルダを作成しようとした場合、警告画面が表示され、フォルダは作成されません。
・ファイルメニュー「開く」「ファイル / フォルダの削除」「ファイル / フォルダ名の変更」を選択した場合も、同じ操作でフォルダが作成できます。
・フォルダ名の最大入力文字数は、１８文字です。

・フォルダ名には使用できない半角文字(" * + , / : ; ＜＝＞ ? [¥] |)があります。
・半角スペースは、フォルダ名の先頭には使用できません。

テキストを検索する

編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索して表示できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「検索」を選択し、enter キーを押す

「検索」画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

検索が可能な文字列は全角 18 文字までです。

3 ▲ / ▼キー（または tab キー）でカーソルを移動し、◄ / ►キーで検索条件を選択する

大文字と小文字の区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

検索する方向：

検索時に、カーソルを基準に検索する方向を選択します。

4 enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索されます。

「検索する文字列」が空欄の場合、enter キーを押しても検索は開始されません。文字列を入力するか、esc キーを押してください。メニュー画面が表示されます。

該当テキストを続けて検索する

同じ文字列を続けて検索します。同じ文字列を入力する手間を省くことができます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「次を検索」を選択し、enter キーを押す

前回入力した検索条件に該当する文字列が検索されます。

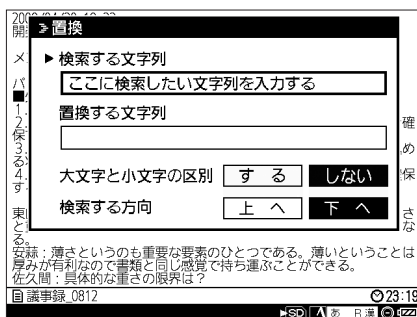
MEMO

- F3（shift ＋ F3）キーを押しても、直前に検索した文字列を続けて検索できます。
- 前回入力した文字列が無い場合、エラー画面が表示され、検索は開始されません。

検索したテキストを置き換える

文字列を検索し、指定した文字列と置換できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「置換」を選択し、enter キーを押す

「置換」画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

3 ▼キー（または tab キー）で「置換する文字列」を選択し、置換したい文字列を入力する

置換が可能な文字列は全角 18 文字までです。

4 ▲ / ▼キー（または tab キー）でカーソルを移動し、◄ / ►キーで検索条件を選択する

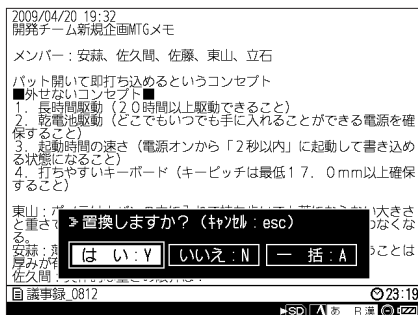
大文字と小文字の区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

検索する方向：

検索時に、カーソルを基準に検索する方向を選択します。

5 enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索され、「置換しますか？」とメッセージが表示されます。

6 ◄ / ►キーでメニューを選択し、enter キーを押す

はい：Y：

検索した文字列を置換し、次の文字列を検索します。

いいえ：N：

検索した文字列を置換しないで、次の文字列を検索します。

一括：A：

検索条件にあてはまる文字列を、全て置換します。

キャンセル：esc：

esc キーを押すと、置換をしないでテキスト編集画面に戻ります。

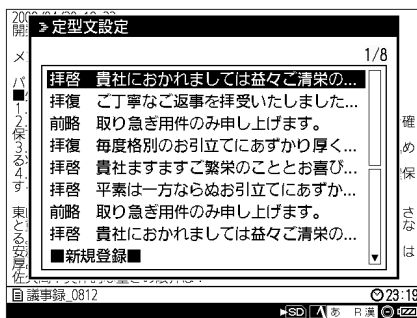
「はい：Y」「いいえ：N」「一括：A」はそれぞれ、Y キー、N キー、A キーを押しても決定できます。

定型文を設定する

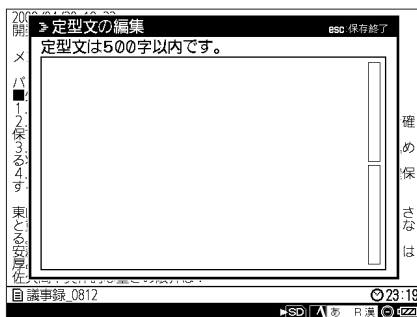
テキスト編集中に挿入できる定型文を設定します。定型文は、18 種類の文章が登録できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「定型文設定」を選択し、enter キーを押す

登録した定型文の一覧が表示されます。

MEMO

登録した定型文は、文頭 18 文字のみ表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「■新規登録■」を選択し、enter キーを押す

「定型文の編集」画面が表示されます。

● 登録済の定型文を編集する場合

1 ▲ / ▼キーで定型文を選択し、enter キーを押す

「定型文の編集」画面が表示されます。

3 設定したい内容を入力し、esc キーを押す

定型文が設定され、定型文一覧画面に戻ります。

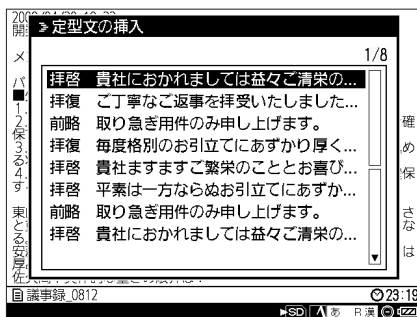
・ 定型文の最大登録文字数は、1 種類につき全角 500 文字まででです。
・ 定型文の編集中に menu キーを押した場合、「編集」「検索」メニューのみ表示されます。
・ 定型文の編集中は、表示文字サイズは変更できません。表示文字サイズはテキスト編集画面と同じになります。
・ 定型文の編集中は、QR コードは表示できません。
・ 定型文中に付箋文は挿入できません。
・ 削除したい定型文を選択し、del キーを押すと確認画面が表示され、定型文が削除できます。

定型文を挿入する

登録した定型文を挿入します。alt + F3 キーでも挿入できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「定型文の挿入」を選択し、enter キーを押す

登録した定型文の一覧が表示されます。

MEMO

登録した定型文は、文頭 18 文字のみ表示されます。

2 ▲ / ▼キーで定型文を選択し、enter キーを押す

選択した定型文がカーソル位置に挿入されます。

MEMO

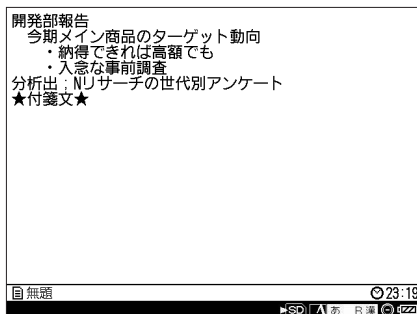
挿入した定型文は、次に定型文の一覧を表示したときに、一番上に表示されます。

付箋文の使い方

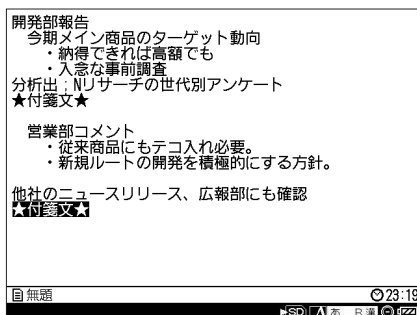
「付箋文」はテキストデータにはさむ「しおり」のような役割をします。テキストに「付箋文」を挿入すると、編集中にワンアクションで、「付箋文」の位置までジャンプすることができるようになります。大量のテキストの中に挿入することで、より効率的なテキスト編集ができます。初期設定では「★付箋文★」が挿入されます。

■付箋文を挿入する

1 F1 キーを押す

テキストに「付箋文」が挿入されます。

■付箋文の位置にジャンプする

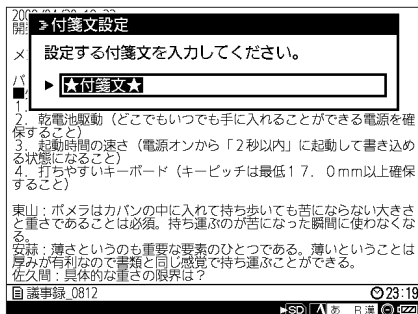
1 F5 キーを押す

カーソルが「付箋文」の位置にジャンプします。

カーソルより前の付箋文にジャンプする場合は shift キー +F5 キーを押してください。

付箋文を設定する

F1 キーで挿入できる付箋文の内容を設定します。付箋文は全角 18 文字まで設定できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」−「付箋文設定」を選択し、enter キーを押す

「付箋文設定」画面が表示されます。

初期設定は「★付箋文★」です。

2 設定したい内容を入力し、enter キーを押す

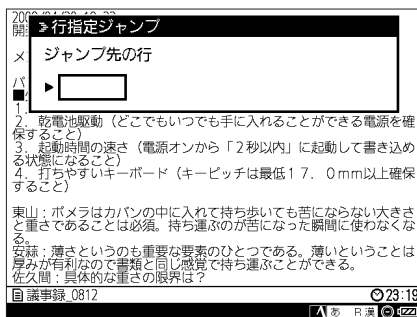
付箋文が設定され、テキスト編集画面に戻ります。

「付箋文」を空欄のまま設定することはできません。必ず文字列を入力してください。

指定した行へジャンプする

編集中のテキスト内で、カーソルを指定した行へジャンプさせることができます。

1 メニュー画面で「編集」−「行指定ジャンプ」を選択し、enter キーを押す

「行指定ジャンプ」画面が表示されます。

2 ジャンプ先の行数を入力し、enter キーを押す

カーソルが指定した行へジャンプします。

ジャンプ先の行数を入力していない場合、enter キーを押してもジャンプはできません。

シフト JIS コードで文字を入力する

読み方の分からない漢字や記号などをシフト JIS コードを使って入力します。

1 メニュー画面で「編集」－「文字パレット」を選択し、enter キーを押す

「文字パレット」画面が表示されます。

2 入力したい文字のシフト JIS コードを入力する

シフト JIS コードは本マニュアルには記載していません。市販の辞書などを参照してください。

●入力したい文字のシフト JIS コードが分からない場合

1. tab キーを押す

「文字パレット」エリアがアクティブになります。

2. ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで入力したい文字を選択する

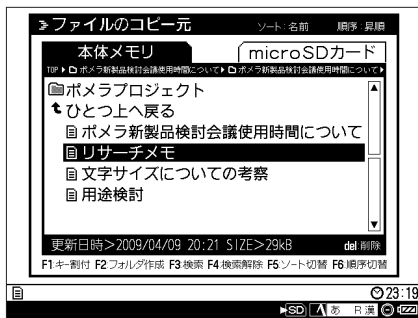
3 enter キーを押す

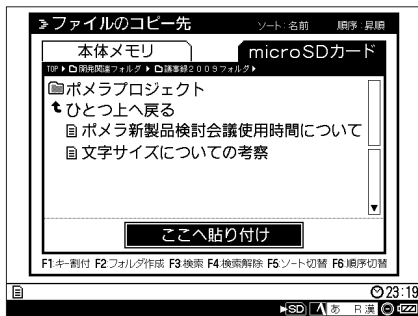
テキスト編集画面に指定した文字が挿入されます。

ファイルをコピー / 移動する

保存したファイルを本体メモリと microSD 間、本体メモリ内の別フォルダ間、microSD 内の別フォルダ間でコピー、または移動できます。コピーは元のファイルを残したまま複製します。移動する場合は、元の場所にファイルは残りません。

1 メニュー画面で「ファイル」−「ファイルのコピー」または「ファイルの移動」を選択し、enter キーを押す

「ファイルのコピー（移動）元」の選択画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーでコピー（または移動）したいファイルを選択して enter キーを押す

「ファイルのコピー（移動）先」の選択画面が表示されます。

3 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーでファイルのコピー（または移動）先を選択し、▲ / ▼キーで「ここへ貼り付け」を選択して、enter キーを押す

ファイルがコピー（移動）され、「ファイルのコピー（移動）元」選択画面に戻ります。

MEMO

コピー（移動）先にフォルダを選択する場合、フォルダを開いて中身を確認してから、「ここへ貼り付け」を選択してください。

注意

フォルダはコピー / 移動できません。

MEMO

- 「ファイルのコピー」の場合、コピー先に同名のファイルがある場合は、「コピー～ファイル名」というファイル名で保存されます。
- 「ファイルの移動」の場合、移動先に同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。
- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

注意

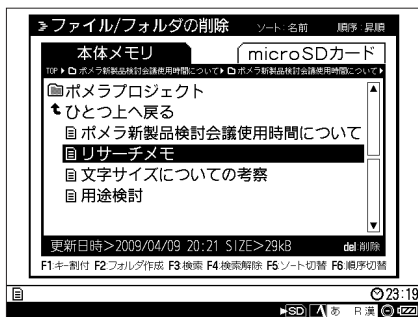
コピー（または移動）先の容量が不足している場合、保存作業は中断されます。

ファイル / フォルダを削除する

保存したファイル / フォルダを削除します。削除したファイル / フォルダは元に戻せません。

ファイルを削除する

1 メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダの削除」を選択し、enter キーを押す

「ファイル / フォルダの削除」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーで削除したいファイルを選択し、enter キー（または del キー）を押す

確認画面が表示されます。

shift+ ▲ / ▼キーで、複数のファイルが選択できます。

3 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

ファイルが削除され、「ファイル / フォルダの削除」画面に戻ります。

MEMO

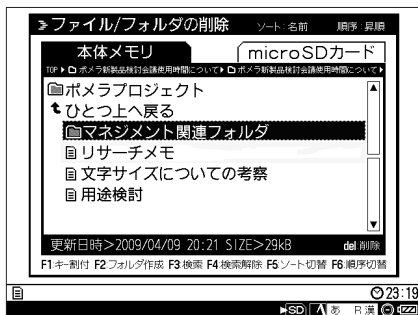
- 「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。
- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

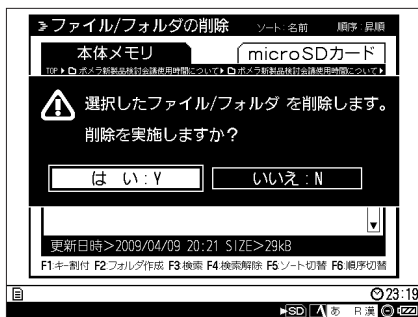
注意

- 削除したファイルは元に戻せません。
- 編集中のファイルを削除する場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作を行ってください。

フォルダを削除する

1 メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダの削除」を選択し、enter キーを押す

「ファイル / フォルダの削除」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーで削除したいフォルダを選択し、del キーを押す

確認画面が表示されます。

shift+ ▲ / ▼キーで、複数のフォルダが選択できます。

3 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

フォルダが削除され、「ファイル / フォルダの削除」画面に戻ります。

- 「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。
- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

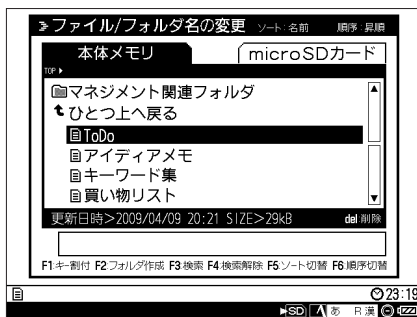
- 削除したフォルダは元に戻せません。
- フォルダを削除した場合、フォルダ内に保存されていたファイルは削除されます。

ファイル / フォルダ名を変更する

保存したファイル / フォルダの名前を変更します。

ファイル名を変更する

1 メニュー画面で「ファイル」–「ファイル / フォルダ名の変更」を選択し、enter キーを押す

「ファイル / フォルダ名の変更」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーで名前を変更したいファイルを選択し enter キー（または tab キー）を押す

ファイル / フォルダ名変更欄にカーソルが移動します。

3 新しいファイル名を入力し、enter キーを押す

ファイル名が変更され、テキスト編集画面に戻ります。

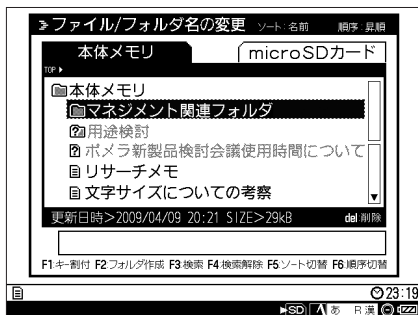
- ファイル名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。
- 新しいファイル名と同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。

注意

- ファイル名には使用できない半角文字（" * + , / : ; < = > ? [¥] | ）があります。
- 半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。
- 編集中のファイルの名前を変更する場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作を行ってください。

フォルダ名を変更する

1 メニュー画面で「ファイル」-「ファイル / フォルダ名の変更」を選択し、enter キーを押す

「ファイル / フォルダ名の変更」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ►キーで名前を変更したいフォルダ選択し、tab キーを押す

ファイル / フォルダ名変更欄にカーソルが移動します。

3 新しいフォルダ名を入力し、enter キーを押す

フォルダ名が変更され、テキスト編集画面に戻ります。

- フォルダ名の最大入力文字数は、全角１８文字です。
- 新しいフォルダ名と同名のフォルダがある場合は、警告画面が表示され、フォルダの名前は変更されません。

- フォルダ名には使用できない半角文字（" * + , / : ; < = > ? [¥] |）があります。
- 半角スペースは、フォルダ名の先頭には使用できません。
- 編集中のファイルがあるフォルダの名前を変更する場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作を行ってください。

- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。（➔ 93 ページ）

ファイル / フォルダを検索する

本体メモリと microSD カードに保存したファイル / フォルダを検索します。

1 メニュー画面で、「ファイル」－「開く」を選択し、enter キーを押す

ファイル / フォルダ管理画面が表示されます。

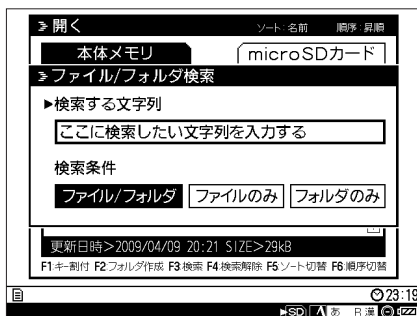
MEMO

「開く」以外のファイル / フォルダ管理画面でも、ファイル / フォルダ検索は可能です。

2 ◄ / ►キーでファイル / フォルダを検索したい保存メモリを選択する

保存先にあるファイル / フォルダの一覧が表示されます。

3 F3 キーを押す

ファイル / フォルダ名入力エリアが表示されます。

4 検索したいファイル / フォルダ名を入力する

MEMO

ファイル / フォルダ名の最大入力文字数は、全角１８文字です。

5 ▲ / ▼キー（または tab キー）でカーソルを移動し、◄ / ► キーで検索条件を選択する

6 Enter キーを押す

検索条件に該当するファイル / フォルダが検索されます。

MEMO

・ 検索対象は、表示しているフォルダ階層以下にあるファイル / フォルダです。
・ 検索結果が表示されている状態で F4 キーを押すと、ファイル / フォルダ管理画面に戻ります。
・ 検索方式は部分一致です。

日付メモを作成する

日付を指定して、メモを作成します。メモを作成すると、該当する日付にマークが表示され、スケジュールのメモや日記の作成などができます。

1 メニュー画面で「ツール」－「カレンダー表示」を選択し、enter キーを押す

「カレンダー」画面が表示されます。

- F1 キー(alt + ▲キーまたは shift + tab キー)で前の月のカレンダーが表示できます。
- F2 キー、(alt + ▼キーまたは tab キー) で次の月のカレンダーが表示できます。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ► キーでメモを作成したい日付を選択し、enter キーを押す

「日付メモ」編集画面が表示されます。

ファイル／フォルダの管理

既に日付メモの存在する日付を選択すると、編集画面に既存のメモが表示されます。

3 文字を入力し、esc キー（または alt + F1 キー）を押す

日付メモが保存され、カレンダー画面が表示されます。

MEMO

- 日付メモの編集中は、表示文字サイズは変更できません。また、QR コード表示もできません。
- 日付メモが保存された日付には、「●」マークが表示されます。
- 日付メモの最大文字入力数は 1 日あたり全角 8,000 文字です。
- 日付メモ分のメモリ容量を超えた場合、新しいメモは作成できませんが、過去の日付メモは閲覧できます。日付メモ分のメモリ容量は 16.7MB です。
- 日付メモの編集中に menu キーを押した場合、「編集」「検索 / 挿入」メニューのみ表示されます。
- 「●」マークのある日付を選択し、del キーを押すと確認画面が表示され、日付メモが削除できます。

注意

- 日付メモは通常のテキスト編集画面では編集できません。
- 日付メモのテキストデータは microSD カードには保存できません。
- 日付メモを保存できる容量には限りがあります。残り容量が少なくなった場合は、PC リンクを使って重要なメモのバックアップを取るか、不要なメモを削除してください。

QR コードを作成する

編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。携帯電話などの QR コードリーダーなどを利用することで、長文のメール作成やブログの更新などが簡単に行えます。

1 メニュー画面で「ツール」－「QRコード表示」を選択し、enter キーを押す

テキストデータが変換され、QR コード画面が表示されます。

・文字数が全角 200 文字を超える場合、テキストは分割され、QR コードが複数作成されます。総数は QR コードの右上に表示されます。
・QR コードに変換できる最大文字数は全角 3200 文字です。

● QR コードが複数作成された場合

1. ▲ / ▼キーを押す

表示される QR コードが切り替わります。

以下のキー操作でも、表示される QR コードが切り替えられます。

tab キー / enter キー / space キー

次の QR コードを表示します。

shift + tab キー / shift + enter キー / shift + space キー

前の QR コードを表示します。

MEMO

・テキストデータの量などによっては、変換に時間がかかる場合があります。
・QR コードの読み取り方法、読み込んだテキストデータの処理（保存先や対応アプリ）については、携帯電話各機種の取扱説明書でご確認をお願いいたします。
・携帯電話の操作・仕様については携帯電話各機種の製造元へお問い合わせください。

注意

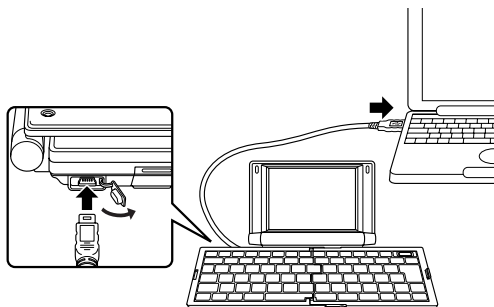
・本機で表示される QR コードの 1 つあたりの最大表示情報量は 400 バイトです。
・ご使用の携帯電話の機種によっては、QR コードの読取り機能がついていても、液晶画面のコントラストやバイト数などの条件により、データの読取りができない場合があります。あらかじめご了承ください。

パソコンと接続（リンク）する

本機とパソコンを接続（リンク）することで、パソコンから本機のファイルへのアクセスが可能になります。

■本機の電源が入っている場合

1 本機とパソコンを同梱の専用 USB ケーブルで接続する

USB ケーブルを接続すると、画面上に USB 接続アイコン USB が表示されます。

2 メニュー画面で、「ツール」－「PC リンク」を選択して、enter キーを押す

本機が PC リンク状態となり、新しいハードウェアとしてパソコンに本体メモリと日付メモおよび microSD カードの保存領域が認識されます。本機のテキスト編集画面には「PC リンク」画面が表示されます。

MEMO

本機にパスワードが設定されている場合は、認証画面が表示されます。パスワードを入力して、enter キーを押してください。パスワードが間違っていると、本機は PC リンク状態になりません。

・ パソコンに対して、同時に複数のポメラは接続できません。
・ 対応 OS については、仕様（➔ 100 ページ）をご確認ください。

■本機の電源が入っていない場合

1 本機とパソコンを同梱の専用 USB ケーブルで接続する

本機が新しいハードウェアとしてパソコンに認識されます。

MEMO

・ 単 4 形電池とコイン電池がセットされていないと、本機は PC リンク状態になりません。
・ 本機にパスワードが設定されている場合は、電源が入っていない状態で USB ケーブルを接続しても本体メモリと日付メモにアクセスできません。microSD カードにのみアクセスできます。本体メモリにアクセスしたい場合は、パスワードを使用して本機を起動してから 61 ページの方法で接続してください。

パソコンでポメラ内のファイルを開く

パソコンと接続すると、パソコンから本体メモリや microSD カードのファイルを開けます。

1 パソコンの [マイコンピュータ] から、本体メモリ（または日付メモ、microSD カード）のドライブを選択する

本体メモリ（または日付メモ、microSD カード）内のフォルダが表示されます。

2 開きたいファイルを右クリックし、表示されたメニューから「開く」を選択する

パソコンのアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

本機とパソコンの間でファイルをコピー／移動する

パソコンと接続すると、本体メモリや microSD カードとパソコンの間で様々なファイルをコピー（または移動）できます。ただし、ポメラでは保存したファイルのうち .txt ファイルしか開けません。

- ポメラでは、全角 28,000 文字を超える文字数の .txt ファイルは開けません。
- ポメラでは、ファイル名が全角 18 文字を超える .txt ファイルは開けません。

1 パソコンの [マイコンピュータ] から、コピー（または移動）したいファイルのあるフォルダを選択する

フォルダ内のファイルが表示されます。

2 ファイルを右クリックし、表示されたメニューから「コピー（または切り取り）」を選択する

3 ファイルのコピー（または移動）先のフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「貼り付け」を選択する

ファイルがコピー（または移動）されます。

注意

単４形電池とコイン電池が消耗している状態で、パソコンからファイルをコピー（または移動）した場合、ポメラには保存されない可能性があります。必ず電池が消耗していないことを確認し、操作を行ってください。

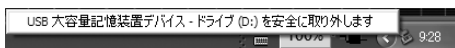
本機をパソコンから取り外す

本機をパソコンから取り外す場合、パソコンから「安全なハードウェアの取り外し」を行い、PC リンク状態を解除します。ここでは、本機が D ドライブに割り当てられた Windows XP での操作を例にしています。

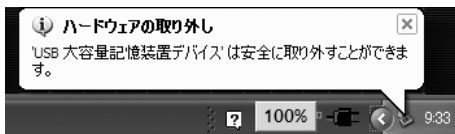
1 パソコンのタスクバーから、「ハードウェアの安全な取り外し」 をクリックする

ハードディスクの安全な取り外しを促すメッセージが表示されます。

パソコンに表示されるアイコンはご使用の OS によって異なります。

2 表示されたメッセージをクリックする

ハードウェアの取り外しが実行され、取り外しが完了するとメッセージが表示されます。

パソコンに表示されるメッセージはご使用の OS によって異なります。

3 表示されたメッセージの×ボタンまたは、[OK] ボタンをクリックする

4 USB ケーブルを取り外す

ポメラの電源が入っている場合、編集中のファイルの内容は保持され、本機の電源が切れます。

・ ポメラをパソコンから取り外すときは、正しい操作を行ってください。正しい操作を行わずに取り外すと、データが破壊されるおそれがあります。
・ USB ケーブルを取り外すまで電源は切れません。

日時を設定する

本機に内蔵されているカレンダーと時計を設定できます。

1 メニュー画面で「オプション」－「日付と時刻設定」を選択し、enter キーを押す

「日付と時刻設定」画面が表示されます。

2 ◄ / ►キーで変更したい項目を選択し、▲/▼キーで数値を選択する

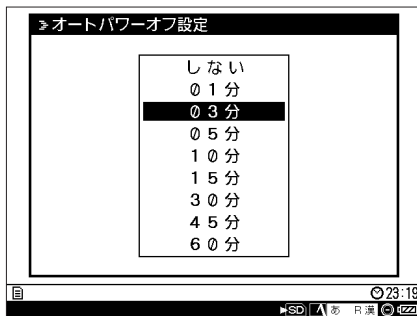
3 enter キーを押す

入力した日付と時刻が設定され、メニュー画面に戻ります。

オートパワーオフを設定する

電源を入れてから一定時間操作をしなかった時に、液晶の表示が消えるまでの時間を設定できます。初期設定は 5 分です。

1 メニュー画面で「オプション」－「オートパワーオフ設定」を選択し、enter キーを押す

「オートパワーオフ設定」画面が表示されます。

2 ▲/▼キーで設定したい時間を選択し、enter キーを押す

自動的に液晶の表示が消える時間が設定され、メニュー画面に戻ります。

MEMO

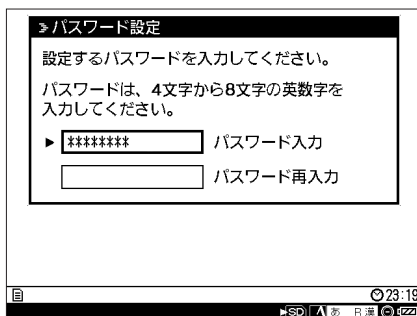
設定時間に「しない」を選択すると、オートパワーオフの設定を解除できます。

注意

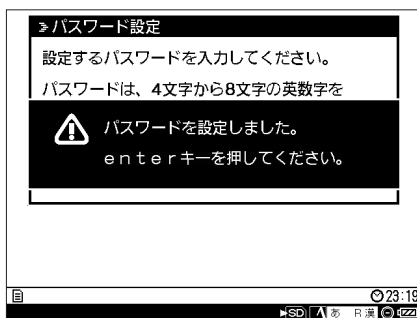
PC リンク状態（または USB ケーブルを接続した状態）ではオートパワーオフは作動しません。

パスワードを設定する

本機を起動するときのパスワードを設定できます。初期状態ではパスワードは設定されていません。

1 メニュー画面で「オプション」－「パスワード設定」を選択し、enter キーを押す

「パスワード設定」画面が表示されます。

2 「パスワード入力」「パスワード再入力」に設定したい文字列を入力し、enter キーを押す

パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。

注意

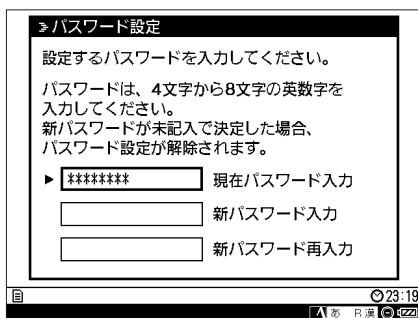
「パスワード入力」と「パスワード再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

3 enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

パスワードを変更する

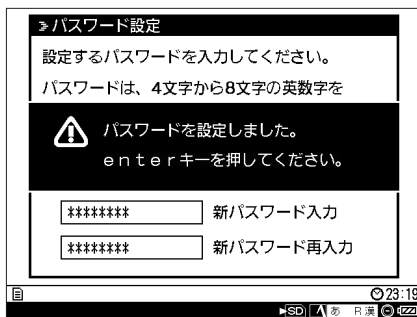
既に設定されているパスワードを変更できます。

1 メニュー画面で「オプション」－「パスワード設定」を選択し、enter キーを押す

「パスワード設定」画面が表示されます。

2 「現在パスワード入力」に現在設定されているパスワードを入力する

3 「新パスワード入力」「新パスワード再入力」に設定したい文字列を入力し、enter キーを押す

パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。

MEMO

パスワードは 4 文字から 8 文字の半角英数字を入力してください。

4 enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

MEMO

新パスワード入力欄を空白にして enter キーを押すと、パスワード設定解除画面が表示され、パスワード設定が解除されます。

注意

「新パスワード入力」と「新パスワード再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

重要

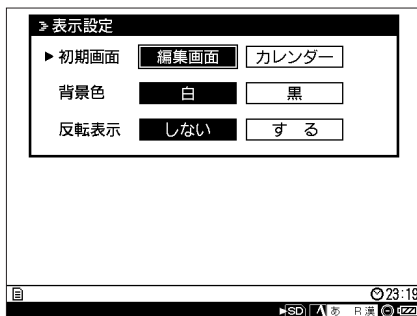
設定したパスワードは、紙に書くなどして忘れないようにしてください。リセットスイッチを押してもセキュリティーのためパスワードは解除されません。

再びポメラをお使いいただくには本体データすべてを消去することとなります。本体データを消去する方法はお客様相談室までお問い合わせください。

画面表示を設定する

液晶画面の表示方法を設定します。

1 メニュー画面で「オプション」－「表示設定」を選択し、enter キーを押す

「表示設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キー(または tab キー)でカーソルを移動し、◄ / ►キーで表示方法を設定する

初期画面：

本機の電源を入れたときに、最初に表示される画面を設定します。編集画面かカレンダーが選択できます。

背景色：

画面の背景色を設定します。白か黒が選択できます。

反転表示：

画面表示の上下を変更します。「する」を選択すると、液晶画面の表示が上下反転します。テキストデータを他人に見せる場合や、口述筆記の内容を確認する場合などに利用できます。

3 enter キーを押す

表示方法が設定され、メニュー画面に戻ります。

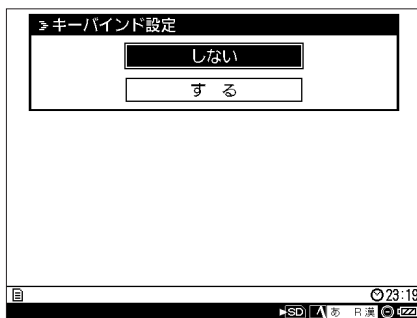
キーボードの機能を設定する

一部のキーの配置を変更、または修飾キーをロック状態にします。

caps キーと ctrl キーの機能を入れ替える

caps キーと ctrl キーの機能を入れ替えます。

1 メニュー画面で「オプション」－「キーバインド設定」を選択し、enter キーを押す

「キーバインド設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「する」を選択し、enter キーを押す

caps キーと ctrl キーの機能が入れ替わり、メニュー画面に戻ります。

ins キーと前候補キーの機能を別のキーに設定する

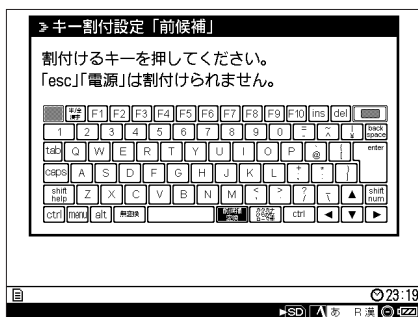
ins キーと前候補キーの機能を、別のキーに設定します。

1 メニュー画面で「オプション」－「キー割付設定」を選択し、enter キーを押す

「キー割付設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「ins」または「前候補」を選択し、enter を押す

キーボード割り付けマップが表示されます。

本機の設定

3 機能を設定したいキーを押す

選択した機能がキーに設定され、「キー割付設定」画面に戻ります。

電源キーと esc キーには設定できません。

4 esc キーを押す

メニュー画面が表示されます。

MEMO

キーボードの機能の設定を初期状態に戻したい場合は、「初期設定に戻す」を選択し、enter キーを押してください。確認画面が表示され、キーボードの機能を初期化できます。

修飾キーをロックする

shift キーと ctrl キーと alt キーを押したままの状態でロックできます。同時に 2 つのキーを押さなくても、ショートカットキーなどを使用することができます。この機能を使用すると、片手でも簡単にテキスト入力ができます。

1 メニュー画面で「オプション」-「キーロック設定」を選択し、enter キーを押す

「キーロック設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「する」を選択し、enter キーを押す

キーロックが設定され、メニュー画面に戻ります。

3 menu キーを押す

テキスト編集画面に戻ります。

4 shift キー、ctrl キー、alt キーのうち、いずれかのキーを押す

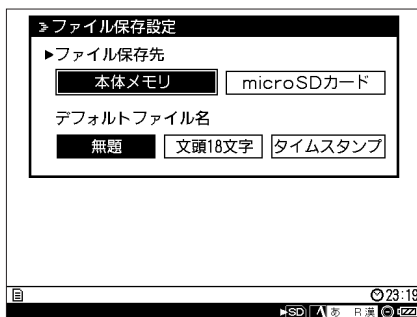
押したキーがロック状態になり、キーロックアイコン が表示されます。

・ ロック状態のキーは、一度入力操作を行うと解除されます。
・ ショートカットキーなどの入力を行わない場合でも、一度キー操作を行うと解除されます。
・ 一度にロックできるキーは 1 つだけです。
・ 修飾キーを二つ以上組み合わせたショートカットキーなどの入力はできません。
・ 再度キーをロックしたい場合は、手順 4 を繰り返してください。

ファイルの保存方法を設定する

新規テキストを保存する場合にあらかじめ入力されている、デフォルトのファイル名と保存先を設定します。

1 メニュー画面で「ファイル」－「ファイル保存設定」を選択し、enter キーを押す

「ファイル保存設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キー(または tab キー)でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで保存方法を設定する

ファイル保存先：
ファイル / フォルダ管理画面（「名前を付けて保存」画面など）を開いたときに、最初に表示される保存先を設定します。

デフォルトファイル名：
編集したテキストファイルを保存する場合のデフォルト名を設定します。

3 enter キーを押す

ファイルの保存方法が設定され、メニュー画面に戻ります。

MEMO

「ファイル保存先」が microSD カードに設定されていて、microSD カードがセットされていない場合、ファイル / フォルダ管理画面を開くと本体メモリが表示されます。

メモリをフォーマットする

本体メモリをフォーマットする

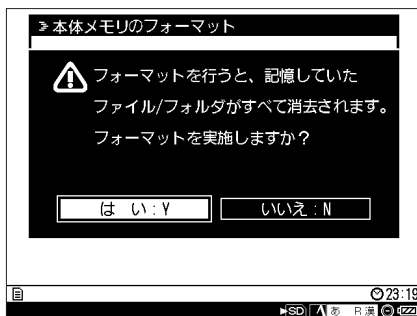
本機の内部メモリにある全てのファイルを消去して、フォーマットします。

フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。

1 メニュー画面で「ツール」－「メモリのフォーマット」を選択し、enter キーを押す

「メモリのフォーマット」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「本体メモリ」を選択し、enter キーを押す

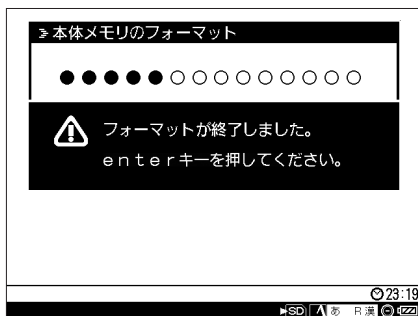
「本体メモリのフォーマット」確認画面が表示されます。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

3 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

内部メモリがフォーマットされ、フォーマット終了のメッセージが表示されます。

4 enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

本機の設定

microSD カードをフォーマットする

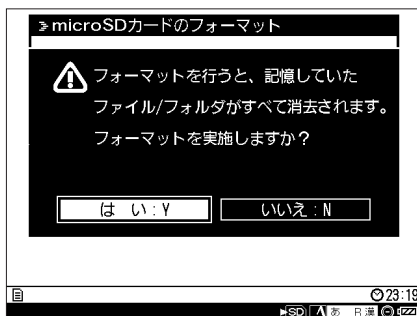
本機に挿入した microSD カードのファイルを全て消去し、フォーマットできます。

フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。

1 メニュー画面で「ツール」−「メモリのフォーマット」を選択し、enter キーを押す

「メモリのフォーマット」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで「microSD」を選択し、enter キーを押す

「microSD カードのフォーマット」確認画面が表示されます。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

3 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

microSD カードがフォーマットされ、フォーマット終了メッセージが表示されます。

4 enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

注意

microSD カードの容量により、フォーマットにかかる時間は異なります。

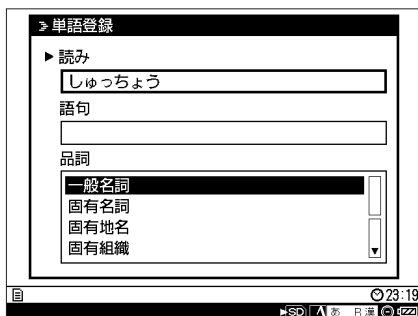
本機の設定

辞書を管理する

単語を登録する

よく使う単語や語句を単語登録します。

1 メニュー画面で「辞書」－「単語登録」を選択し、enter キーを押す

「単語登録」画面が表示されます。

2 ▲/▼キーで入力項目を移動し、登録したい単語のデータを入力する

読み：

登録したい単語の読み方を入力します。

語句：

登録する単語を入力します。

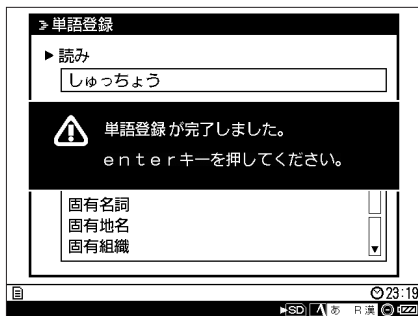
品詞：

登録する単語の品詞を選択します。選択できる品詞は 33 種類です。

・ 読みの最大入力文字数は全角 8 文字です。
・ 語句の最大入力文字数は全角 18 文字です。

「読み」の登録には使用できない文字があります。（➔ 94 ページ）

3 enter キーを押す

登録完了のメッセージが表示され、単語登録画面に戻ります。

最大 1000 件まで単語登録できます。（語句７文字、読み７文字の場合）

注意

登録する単語によっては動詞の活用に対応しないものがあります。その場合は、一般名詞や固有名詞などで登録してください。

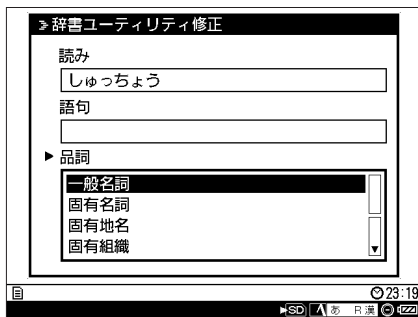
登録した単語を編集する

辞書に登録した単語を編集します。登録単語の削除もできます。

1 メニュー画面で「辞書」−「辞書ユーティリティ」を選択し、enter キーを押す

「辞書ユーティリティ」画面が表示されます。

2 ▲/▼キーで編集したい単語を選択し、enter キーを押す

「辞書ユーティリティ修正」画面が表示されます。

●登録した単語を削除する場合

1. ▲ / ▼キーで削除したい単語を選択し、del キーを押す
   「登録単語の削除」確認画面が表示されます。
2. ◄ / ►キーで「はい :Y」を選択し、enter キーを押す
   登録単語が削除され、辞書ユーティリティ画面に戻ります。

3 単語のデータを変更し、enter キーを押す

入力した単語のデータが保存され、辞書ユーティリティ画面に戻ります。

編集した辞書を microSD カードに保存する

編集した辞書を .dic ファイル（辞書ファイル）として microSD カードに保存します。

1 メニュー画面で「辞書」－「登録辞書エクスポート」を選択し、enter キーを押す

「登録辞書エクスポート」画面が表示されます。

2 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

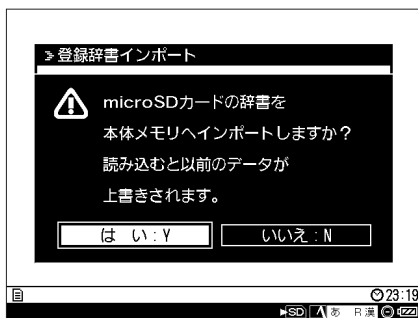
編集した辞書が microSD カードに保存され、メニュー画面に戻ります。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

microSD カードに保存した辞書データを本体へ読み込む

microSD カードに保存した辞書ファイルを本体メモリへ読み込みます。

1 メニュー画面で「辞書」－「登録辞書インポート」を選択し、enter キーを押す

「登録辞書インポート」画面が表示されます。

2 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、enter キーを押す

microSD カードに保存されていた辞書ファイルが本体に読み込まれ、メニュー画面に戻ります。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

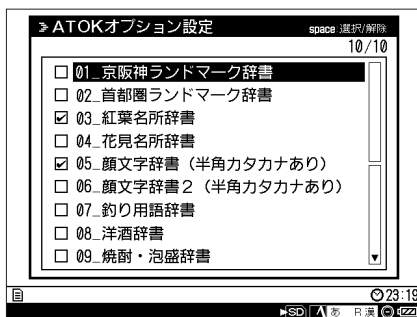
注 意

・パソコンでお使いの ATOK 辞書データをポメラにインポートして使用することはできません。
・DM10、DM5、DM11G でお使いの ATOK 辞書データは、DM20(DM20Y) にインポートして使用できます。
・DM20(DM20Y) でお使いの ATOK 辞書データは、DM10、DM5、DM11G では使用できません。

オプション辞書を設定する

ATOK のオプション辞書から、本機で追加使用する辞書を選択します。

1 メニュー画面で「辞書」－「ATOK オプション」を選択し、enter キーを押す

「ATOK オプション設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーでカーソルを移動し、space キーでオプション辞書を選択する

MEMO

- オプション辞書は 10 種類まで選択できます。
- 既に選択したオプション辞書にカーソルをあわせて space キーを押すと、選択が解除されます。

3 enter キーを押す

オプション辞書が設定され、メニュー画面に戻ります。

ソフトウェアのアップデートについて

最新版ソフトウェアの情報や、アップデートの詳しい手順については、弊社 HP（http://www.kingjim.co.jp/）をご参照ください。

MEMO
ソフトウェアをアップデートするには、USB ケーブルと microSD カードを本機にセットする必要があります。詳しくは『microSD カードをセットする（別売り）』（➔ 20 ページ）を参照してください。

ショートカットキー一覧

本機では、ポメラ専用のショートカットキーに加え、選択した日本語入力システムのショートカットキーを使用できます。

MEMO
メニュー画面で「ツール」－「ショートカットキー一覧」を選択し、enter キーを押すと、ショートカットキーの一覧が表示されます。

ポメラショートカットキー

●編集操作	
付箋文の挿入	F1 ＊1
タイムスタンプ	F2
次を検索	F3
繰り返し動作	F4
付箋文ジャンプ	F5 ＊1
表示文字サイズ変更（昇）	F6 ＊2
文章情報表示	F7
Page Up	alt ＋ ▲

●編集操作	
Page Down	alt + ▼
Home	alt + ◄
End	alt + ►
F １メニュー（付箋文の挿入）	alt + F ＊1
F ２メニュー（タイムスタンプ）	alt + E
F ３メニュー（次を検索）	alt + O
F ４メニュー（繰り返し動作）	alt + V
F ５メニュー（付箋文ジャンプ）	alt + H ＊1
F ６メニュー（文字サイズ変更）	alt + K ＊2
F ７メニュー（文字情報表示）	alt + I
元に戻す	alt + backspace or ctrl + Z
半角 / 全角の切り替え	alt + 半角 / 全角
かな入力 / ローマ字入力変更	alt + カタカナひらがな
num lock	alt + 右 shift（num）
切り取り	ctrl + X
コピー	ctrl + C
貼り付け	ctrl + V
全て選択	ctrl + A
リセット	ctrl + alt + del
文頭に移動	ctrl + alt + ◄
文末に移動	ctrl + alt + ►
カーソル位置から文頭までを選択	ctrl + alt + shift + ◄
カーソル位置から文末までを選択	ctrl + alt + shift + ►
単語単位でカーソル移動	ctrl + ◄ or ►
文字の選択	shift + カーソルキー
英字を大文字に固定	shift + caps
上方向に検索	shift + F3
上方向に付箋文ジャンプ	shift + F5
文字サイズ変更（降）	shift + F6

●メニュー操作	
カレンダー表示	alt + F1 *3
定型文の挿入	alt + F3 *1
表示方向反転	alt + F4
QR コード表示	alt + F5 *2
ショートカットキー一覧表示	alt + menu
新規作成	ctrl + N *2
開く	ctrl + O *2
上書き保存	ctrl + S *1
検索	ctrl + F
置換	ctrl + H
行指定ジャンプ	ctrl + G
ファイルの削除	ctrl + D *2

＊ 1　定型文の編集中は使用できません。
＊ 2　定型文の編集中、日付メモの編集中は使用できません。
＊ 3　定型文の編集中、日付メモの編集中に入力した場合、内容を保存して編集を終了します。

ATOK ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	スペース　/　変換　/　shift +スペース /　shift +変換
変換 / 前候補	▲
ひらがな（後）変換	F6 / ctrl + U
カタカナ（後）変換	F7 / ctrl + I
半角（後）変換	F8 / ctrl + O
全角無変換（後）変換	F9 / ctrl + P
半角無変換（後）変換	F10 / ctrl +@
順次無変換後変換	なし
順次カタカナ後変換	なし

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	enter / ctrl + M
部分確定	▼ / ctrl + N
変換取消	backspace / ctrl + H
全文字削除	esc / ctrl + [
前文字削除	backspace / ctrl + H
1文字削除	del / ctrl + G
カーソルを前へ移動	◄
カーソルを後ろへ移動	► / ctrl + L
カーソルを先頭へ移動	ctrl + alt + ◄
カーソルを末尾へ移動	ctrl + alt + ►

●候補操作	
次の候補群を表示	変換
前の候補群を表示	shift ＋変換
先頭候補へ移動	なし
最終候補へ移動	なし

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	◄ / ctrl ＋ K
文節の区切りを後へ移動	► / ctrl ＋ L
注目文節を前へ移動	shift ＋ ◄
注目文節を後へ移動	shift ＋ ►
注目文節を先頭へ移動	ctrl ＋ ◄
注目文節を末尾へ移動	ctrl ＋ ►

●機能操作	
日本語入力オン／オフ	半角／全角
単語登録	ctrl ＋ F7
単語削除	ctrl ＋ del
入力モード順次切替	F10
入力文字種（A / A） 順次切替	なし
入力文字種（あ / ア / ｱ） 順次切替	なし
漢字 / 半角モード切替	変換
固定入力英字順次切替	shift ＋無変換
固定入力カナ順次切替	ctrl ＋無変換
漢字入力モード順次切替	alt ＋カタカナひらがな
入力文字種全角ひらがな	なし
入力文字種全角カタカナ	なし
半角無変換固定入力 オン / オフ	無変換
カナ入力切替	alt ＋カタカナひらがな

MS-IME ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	スペース / 変換 / ▼ / ctrl + X
変換 / 前候補	shift +スペース / shift +変換 / ▲ / ctrl + E
ひらがな（後）変換	F6 / ctrl + U
カタカナ（後）変換	F7 / ctrl + I
半角（後）変換	F8 / ctrl + O
全角無変換（後）変換	F9 / ctrl + P
半角無変換（後）変換	F10 / ctrl + T
順次無変換後変換	shift +無変換
順次カタカナ後変換	無変換

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	enter / ctrl + M / ctrl + enter
部分確定	ctrl + ▼ / ctrl + N
変換取消	backspace / ctrl + H / esc / ctrl + Z
全文字削除	esc / shift + esc / ctrl + Z
前文字削除	backspace / ctrl + H / shift + backspace
1文字削除	del / ctrl + G
カーソルを前へ移動	◄ / shift + ◄ / ctrl + S / ctrl + K
カーソルを後ろへ移動	► / shift + ► / ctrl + D / ctrl + L
カーソルを先頭へ移動	ctrl + alt + ◄
カーソルを末尾へ移動	ctrl + alt + ►

●候補操作	
次の候補群を表示	pgdn / shift +▼
前の候補群を表示	pgup/shift +▲
先頭候補へ移動	home
最終候補へ移動	end

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	shift +◀ / ctrl + K
文節の区切りを後へ移動	shift +▶ / ctrl + L
注目文節を前へ移動	◀ / ctrl + S
注目文節を後へ移動	▶ / ctrl + D
注目文節を先頭へ移動	ctrl +◀ / home / ctrl + A
注目文節を末尾へ移動	ctrl +▶ / end / ctrl + F

●機能操作	
日本語入力オン／オフ	半角／全角
単語登録	ctrl + F7
単語削除	ctrl + del
入力モード順次切替	F10
入力文字種（Ａ / A）順次切替	shift +無変換
入力文字種（あ / ア / ｱ）順次切替	無変換
漢字 / 半角モード切替	なし
固定入力英字順次切替	なし
固定入力カナ順次切替	なし
漢字入力モード順次切替	alt +カタカナひらがな
入力文字種全角ひらがな	カタカナひらがな
入力文字種全角カタカナ	shift +カタカナひらがな
半角無変換固定入力オン / オフ	なし
カナ入力切替	なし
英字入力オン / オフ	caps

付録

ファイル / フォルダ管理用ショートカットキー一覧

MEMO

ファイル / フォルダ管理画面でヘルプキー（alt + menu キー）を押すと、ファイル / フォルダ管理用ショートカットキーの一覧が表示されます。

●ファイル / フォルダ管理	
キー割付	F1 / alt + menu
フォルダ作成	F2
ファイル / フォルダ検索	F3
ファイル / フォルダ検索解除	F4
ソート条件変更	F5
順序変更	F6
ファイル削除	del
選択解除	ctrl + space
選択せずにフォーカス移動	ctrl + ▲ / ▼
複数ファイル / フォルダ選択	shift + ▲ / ▼

単語登録に使えない文字

「読み」登録に使えない文字

半　角	全　角	備　考
空白	空白	
!	！	
”	”	ダブルクォート
'	’	クォート
(	（	
)	）	
,	，	カンマ
.	．	ピリオド
?	？	
[	［	
¥	￥	
]	］	
^	＾	ハット
`	｀	バッククォート
{	｛	
¦	｜	パイプ
}	｝	
~	～	チルダ
｡	。	句点
｢	「	
｣	」	
､	、	読点

その他、漢字や『 』① ± ☆ のような、半角コード（数字、記号、アルファベット、カタカナ）に変換できない記号など。

付録

「読み」登録の先頭に使えない文字

半角カタカナ	全角カタカナ	ひらがな	備考
ｦ	ヲ	を	
ｧ	ァ	ぁ	拗音
ｨ	ィ	ぃ	
ｩ	ゥ	ぅ	
ｪ	ェ	ぇ	
ｫ	ォ	ぉ	
ｬ	ャ	ゃ	
ｭ	ュ	ゅ	
ｮ	ョ	ょ	
ｯ	ッ	っ	促音
ｰ	ー	ー	長音
ﾝ	ン	ん	
	ヰ	ゐ	旧仮名づかい
	ヱ	ゑ	
	ヵ		
	ヶ		
	ヮ	ゎ	
ﾞ	゛	゛	濁音
ﾟ	゜	゜	半濁音

故障かなと思ったら

■電源ボタンを押しても液晶パネルに何も表示されない

電池の向きは正しくセットされていますか？

電池の向きが逆にセットされていると電源は入りません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

➔ 12 ページ「電池をセットする（別売り）」

リセットスイッチは押しましたか？

コイン電池と、単 4 形電池を同時に交換する場合は、リセットが必要です。電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合は、リセットスイッチを押してください。

ただしリセットスイッチを押すと未保存の文書は消去されます。
（保存済みの文書は消去されません。）

単 4 形電池が消耗していませんか？

消耗した単 4 形電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい単 4 形電池と交換するか、十分に充電したエネループをセットしてください。

➔ 12 ページ「電池をセットする（別売り）」

■液晶パネルのディスプレイが消える

オートパワーオフ機能ではありませんか？

オートパワーオフ機能を設定している場合、一定時間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。初期設定では 5 分間操作をしないと電源が切れるように設定されています。

➔ 66 ページ「オートパワーオフの設定をする」

■パソコンにポメラが認識されない

「PC リンク」は設定しましたか？

電源が入っている状態でポメラとパソコンを接続したときは、「PC リンク」を設定しないと、パソコンはポメラを認識しません。メニュー画面で「オプション」-「PC リンク」を設定してください。

➔ 61 ページ「パソコンと接続（リンク）する」

USB ケーブルはしっかり接続されていますか？

USB ケーブルの両端を本機とパソコンの USB 端子にしっかりと接続してください。

パスワードが設定されていませんか？

パスワードが設定されていて、電源がオフの状態では microSD カードしかパソコンに認識されません。電源をオンにして「PC リンク」設定からパスワード入力を行うか、パスワード設定を解除してください。

■ microSD カードがポメラで認識されない

デジタルメモ「ポメラ」DM20 の最新の動作確認済み microSD カードの情報は弊社 HP にてご確認ください。

http://www.kingjim.co.jp/

索引

記号

英数字

あ

か

さ

付録

た

な

は

ま

ら

付録

仕様

本体

キーボード	：折りたたみ式、日本語対応
内蔵システムメモリ	：ROM/FLASH メモリ
内蔵ユーザーメモリ	：不揮発性メモリ（文書記憶領域 89MB）
表示サイズ・解像度	：5 インチ TFT モノクロ LCD、VGA（640 × 480）
日本語入力システム	：ATOK
文字セット	：JIS 第一水準、JIS 第二水準
メモリーカードスロット	：microSD（2GB まで対応、FAT32） microSDHC（16GB まで対応、FAT32）
カレンダクロック	：日付時間、バッテリーバックアップ
パワーマネジメント	：オートパワーオフ、ローバッテリー警告、本体クローズ時オフ
PC リンク対応 OS	：日本語 Windows7/Vista/XP　※ 32bit 版のみ対応 ※WindowsVista Enterprise は動作対象外となっております。 ※MacOS には、非対応。
インターフェイス	：USB 接続（ミニ B 端子）

電源

電源	：単 4 形アルカリ乾電池× 2 本、 または単 4 形エネループ× 2 本
電池寿命	：約 20 時間 （アルカリ電池使用、１日２時間キー操作、 ２時間待機の場合） 約 15 時間 （エネループ使用、１日２時間キー操作、 ２時間待機の場合） 電池寿命は使用環境や設定などで変化します。

その他

寸法	：W145 × D100 × H33（mm、折りたたみ時） W250 × D110（mm、展開時）
質量	：約 370g（電池含まず）
同梱品	：USB ケーブル（ミニ B 端子、50cm）、リチウムコイン電池（CR2032、本体内蔵）、取扱説明書、保証書

アフターサービス

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。

なお、修理・検査を行うと、保存されているファイル・辞書登録や学習内容などが消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAXからの場合 **0120-79-8102**
携帯電話からの場合 **0570-06-4759** ※通話料お客様負担
受付時間：平日（月～金曜日）午前 9:00～午後 5:30

付録

デジタルメモ「ポメラ」DM20　取扱説明書
2010年　12月　第3版
株式会社キングジム
〒101-0031　東京都千代田区東神田二丁目10番18号
http://www.kingjim.co.jp/